

外資系企業の国内物流施設活用を推進

新会社・日本物流不動産を設立

今週の

採れたて TOPICS!

英語で物流不動産サービスを提供

日本物流不動産
(東京都港区)
池田晃一郎社長(39)

・Comも買い取り、運営も行う予定で、英語圏への情報発信を活発化していく。

新会社の社長に就任す

イソーコ(東京都港区)、イソーコドットコムが一部出資する新会社・日本物流不動産(東京都港区)が設立された。外資系企業による、国内の物流倉庫などの不動産利用の活発化が期待される。

池田晃一郎氏は、ソニーグループで国際物流を手掛けてきた。前職時代のネットワークを活用し、国際・国内物流の企業のネットワーキングを促進していく。

新会社・日本物流不動産は、物流不動産ビジネスに関わるサービスを外資系企業を中心に英語で提供することを、メインビジネスとしていく。これまで東運開発が保有していた英語版イソーコ

現在、イソーコ総合研究所(東京都港区)が行っている、倉庫をオフィスなどに活用する倉庫リノベーションでも相乗効果を期待している。倉庫をオフィスなどに活用する事例はアメリカを始め、イギリスなど海外で

は古くから行われているといい、新会社に問い合わせのあった外資系企業に倉庫リノベーションの営業も可能となる。また太陽光発電の機材選定や遮熱塗料、LEDの企画も行うという。

要が高まっている。

倉庫などの物流不動産は、インターネット販売による小口物流の発達などで新たな施設などの需

要が高まっている。

大型物流施設の建設が続くイソーコドットコム提供

